

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	60	病院事業	事業コード	35029	
事業名	病院事業の運営						
評価担当課	所属名	病)経営管理室 総務課					
	課長名	米森 正貴	担当者名	佐藤 ひろみ	電話番号	726-2211(内2114)	
施策名	主	病院事業会計					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	市民のために高度急性期病院の役割である「最後のとりで」として地域の医療機関を支えるために、医療の質のさらなる向上と将来に向けた経営の改善を両立させる。				
		長期	公立病院として時代の要請に応えながら、複雑かつ多様化する医療ニーズに対応していく。				
	取組内容	将来にわたって市民に信頼され、安全で安心できる質の高い医療を提供することをめざし、公立病院として、救急医療、周産期医療、精神医療等の政策的な医療を提供するとともに、33の診療科を擁する基幹病院として、重症患者に対する急性期医療を中心に、他の医療機関では対応の難しい合併症を持った患者への治療等にも積極的に取り組む。 また、地域医療支援病院として、他の医療機関との連携のもと、地域完結型医療の構築に努める。					
	実施結果	中期経営計画に基づき、質の高い医療の提供、経営基盤の強化、計画的な施設、設備、高度医療機器の整備、患者サービスの向上に向けた取組を行った。					
事業実施における工夫点	計画の実効性を確保していくために、事業管理会議(経営層による月4回の会議)において、進捗状況の確認、見直しや改善指示を行った。						
対象者	患者、連携医療機関等			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	医療法、医師法、医薬品医療機器法、その他関係法令						
他都市の状況	他都市の自治体病院においても、本市同様、医療ニーズや疾病構造の変化に対応するための取り組みが行われている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	28,456,831	30,010,000	27,873,114	31,544,589	
うち特定財源	11,170,024	5,042,260	9,651,453	8,581,426	
人工	1,126.0	1,131.0	1,154.0	1,132.0	
人件費	0	0	0	0	
計(事業費+人件費)	28,456,831	30,010,000	27,873,114	31,544,589	
事業費の内訳	令和3年度決算	主な内訳は以下のとおり(※特別会計の事業のため、職員の人件費は事業費に含まれる) 給与費:11,796,929千円 薬品費:4,433,120千円 医療材料費:2,164,878千円 委託料:2,550,794千円			
	令和4年度予算	主な内訳は以下のとおり(※特別会計の事業のため、職員の人件費は事業費に含まれる) 給与費:11,898,009千円 薬品費:5,678,917千円 医療材料費:2,312,700千円 委託料:2,867,089千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	新入院患者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	11724	18029	11993	15497	
活動指標2	指標名	病床利用率			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	57.00%	85.60%	57.20%	73.10%	
成果指標1	指標名	経常収支の黒字化			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	黒字継続	黒字継続	黒字継続	黒字継続	
成果指標2	指標名	資金収支の黒字化			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	黒字継続	黒字継続	黒字継続	黒字継続	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症への対応のため、新入院患者数及び病床利用率は予定を下回ったが、市保健所等と連携しながら、重症度の高い患者や他の病院では受入れが難しい患者を中心に、900人以上の新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるなど、求められる役割を果たした。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	高度急性期病院かつ地域医療支援病院として、地域の医療機関を支えるために適正な事業規模となっている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	採算性や専門職の確保等の面から民間医療機関では提供が困難な医療(救急、周産期、小児、精神、災害)、実施する医療機関が限定される医療(感染症、エイズ)などを安定的・継続的に提供するためには、現状の直営が適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	平時からの政策的な医療の提供に加えて、新型コロナウイルス感染症への対応においても、その時々で必要な役割を果たしている。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	地域からの紹介患者や救急患者をより多く受け入れる体制をつくることにより収益の向上を図る必要がある。当面は新型コロナウイルス感染症への対応が継続すると考えられるため、一般診療の両立が課題である。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、市内の医療提供体制において、その時々で必要な役割を果たしている。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	高度急性期病院及び地域支援病院並びに感染症指定医療機関としての役割を果たしながら、経常収支の黒字を維持している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら、引き続き高度急性期病院及び地域支援病院の役割と感染症指定医療機関としての役割の両立を図っていく。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 上記を念頭に予算編成を行う。		見直し効果額	0 千円